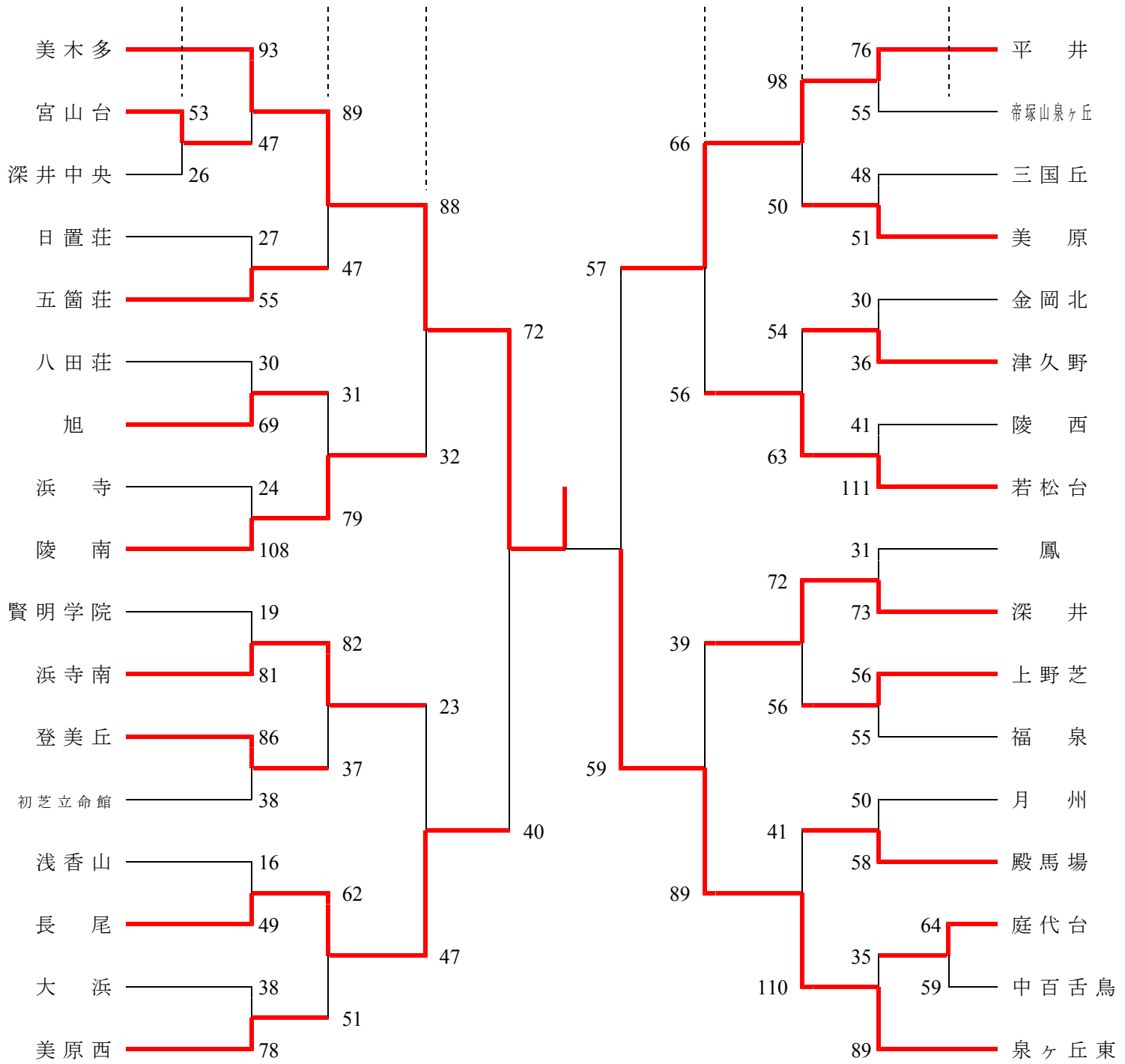


2014年度堺市種目別優勝大会

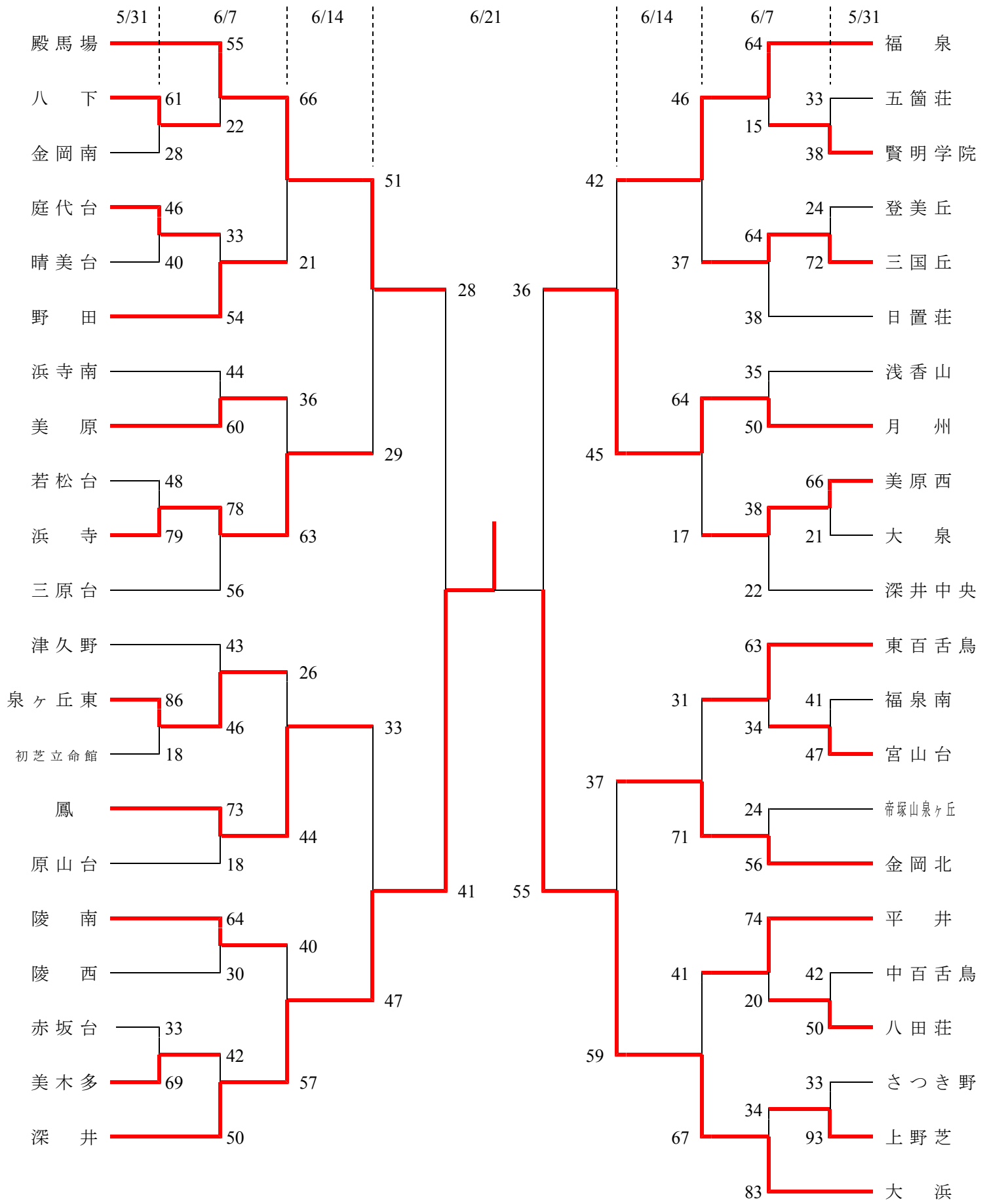
男子の部



決勝

美木多	8	7	-	6	8	泉ヶ丘
	23	1Q		12		
	29	2Q		12		
	24	3Q		16		
	12	4Q		28		

女子の部



決勝

深井	5	7	-	5	1	大浜
	16	10		19		
	12	20		7		
	21	30		18		
	8	40		7		

男子決勝戦評 美木多 87-68 泉ヶ丘東

美木多④⑤⑥⑦⑧、泉ヶ丘東④⑤⑥⑦⑧でスタート。開始早々から美木多がディフェンスでプレッシャーをかけ、ゲームの主導権を握る。泉ヶ丘東はタイムアウトから自分たちのペースを取り戻そうとし、⑤のゴール下や⑥の外角シュートで食らいつく。しかし、美木多も着実に点数を重ね、23-12と美木多リードで1Qを終える。

2Qでは泉ヶ丘東は美木多④⑦を中心としたオフェンスに対応できず、大きくリードを広げ51-24で前半を終える。

後半になっても試合の流れは変わらず、美木多が終始試合の流れを保ち続け 87-68で優勝を果たした。

各チーム共に課題を修正し、これまでの経験を生かし、一つでも多くの勝利を手に入れられるよう、しっかりと準備して夏の大会を迎えてほしい。

(五箇荘中 岩橋)

女子決勝戦評 深井 57-51 大浜

深井④⑤⑥⑦⑧、大浜⑤⑥⑦⑧⑩で両チーム共にオールコートマンツーマンでスタート。大浜が⑤のスティールからの速攻で先制。大浜は続けて⑦のハイポストからのシュートなどでリズムに乗る。深井はたまたまタイムアウトで修正を図る。深井④を起点とし、ドライブや合わせなどで点差をつめる。大浜も⑤⑥の3ポイントなどで得点を重ね両者譲らず1Qを終える。

2Qに入り、深井が⑨を投入すると、ドライブからのレイアップやミドルシュートが決まり出す。大浜は⑦⑧のポストへのパスが入らず、攻め手を欠く。深井がディフェンスから自分たちの流れをつかみかけるも、大浜⑤が3ポイントを決め、一進一退の攻防が続く。

3Qが始まると、大浜の足が止まりだし、インサイドを起点にすることができず、ミスが続く。一方、深井は④⑥⑨のミドルシュートがよく決まる。対する大浜は⑦⑧がドライブからファウルを誘い、フリースローを確実に決め、粘りを見せる。

4Q開始から大浜は生命線であるディフェンスリバウンド、ルーズボールからの速攻で点差を縮めていく。深井はボール運びへのプレッシャーを強め、逆転を許さない。大浜が3点差までつめよるものの、深井はプレッシャーをかけ続け、57-51で優勝を勝ち取った。

(平井中 竹内、鳳中 近藤)